

高山駅周辺まちづくり協議会 第9回民有空間検討部会議事録要旨

日時：平成19年2月27日 13:30～

場所：高山市役所 行政委員会室（3階）

《駅周辺整備推進室長挨拶》

《部会長挨拶》

《議事》

○JRアンダーパス工事

○建物移転補償

○駅舎・自由通路・駅前広場基本計画について

《質疑等》

部会長：駅西には駐車場等のスペースは設けるのか。

事務局：現在の駅西駐車場は240台で、将来は約300台を計画している。

現在の駅西駐車場は形状も良くない。区画整理事業で整備することにより、現在の位置には面で300台が確保する能力はあるが、一部交流センター等の計画があり、立体化等する必要があると思われる。

部会長：参考までに高山線及び高山駅に関してJRの収益はどうか。

事務局：聞いた話によりますと赤が多い路線であるとのこと。

委員：多いというより岐阜駅を出たら、一つも黒になることはない。

事務局：過去には1日4,500～5,000人の利用があったが、平成16年度の台風災害により高山線の富山までが不通となり、現在の利用者は3,700に減少している。

平成19年の秋には富山方面が開通するのである程度回復することは予想されるが。黒字になるのに何人の利用者が必要かはわからない。

JRが言うには、富山－高山間の開通に向けてJRが負担した金額は60億円、今後この金額を回収することは出来ないのではないかと思います。これが高山線の現状である。

委員：資料では駅舎の概略設計が19年度となっているが本当に出来るのか。

事務局：そのスケジュールについては後ほど説明させていただきます。

駅舎について

事務局：外見についてどのようにすればいいか悩んでいる。機能についてはユニバーサルで決まっている。

駅舎のイメージについて皆さんがどのような感じがよいと思ってみえるか教えていただきたい。

委員：高山らしさを駅には反映して欲しい。木質化を多く取り入れて欲しい。

ここで出た意見について、JRは反映させるのか。

事務局：今年、概略設計をするが、都市側である程度デザインについては形にしてJRと協議を行う。JRもできるだけ都市側の意見を酌みたいという意向もある。

高山市には景観ガイドラインもあるので、色なども町並みにあわせるということで高山駅周辺は決まっておりますので、ピンクや赤は当然使いませんので、そのようなことを考えながらどのような外観でどのようなものが良いのか、言葉でいうなら例えば陣屋風がいいとか、昔はそのような風に言われていたためそのようなイメージ図を描いたこともありますが、そんな中で言葉で言うなら歴史文化があるのがいいとか、京都みたいに近代的なものがいいとか、端的な言葉でも結構ですのでおねがいたします。

委員：個人的にも考えがまとまらない。高山らしさが必要だとは思いつつ、だからどういうのがいいんだというのは今のところは浮かばない。

ただ、ビックアリーナはいろいろと不都合があるので、ああいうような轍は踏まないようにして欲しい。私は武道場をよく利用するが、エアコンがないにもかかわらず、風が通らない。その他にもいろいろと不都合があるので、あれは情けないという印象をもっている。

事務局：その辺はまた後にして次を。

部会長：次の方をお願いします。

委員：高山に異動してきてちょうど1年経つが、高山というと先ほどのパースでは1か2あるいは併せたようなイメージとなるんですが、ただ、これは東側のイメージで、自由通路で西側にも駅ができるので、西側にはどのようなまちづくりをされたいのか、そういうようなものがあるのではないかなと思いますので。たとえば、世界生活文化センターは近代的だが、あのように西側はガラッと変えてしまうのも面白いかなと。どちらも同じかもしれませんが。

委員：仕事柄いろいろな駅に行きますが、どこの駅もあまり代わり映えしない。

中にいる分には外観は関係ない。高山駅に向かっていくのにあまりイメージはなく、イメージについて余りこだわりはない。田舎に都会的なものがあっても余り違和感はない。

あえていえば、どこにもないようなものを作って欲しい。

委員：江戸時代をイメージしたようなもの、外は江戸時代の庭みたいなもの、建物も江戸時代の金森氏が開いた時代の町屋的なイメージのもの。

あるいは、昭和の時代に今の高山駅ができたので、昭和の初めのイメージを。

事務局：(現在の駅は)昭和9年です。

委員：その頃の高山の町のイメージを。その頃の土壁や漆喰を使ったら面白いかと。

事務局：近代的、歴史的なものがよろしいということですね。

委員：文化伝統的なものでもいいかと。

委員：私も他所から来ているんですが、イメージとしては1案2案というのが高山の町にはあっているのかなと思います。

委員：私は子供の頃から高山駅前に暮らしてまして、子供の頃の思い出として駅の広場から山並み、乗鞍が見えまして、非常に遠望が、この景色こそが高山だなと思う。外観をどうするかというお尋ねですが、山がよく見えるような方法、手立てをとっていただけたら、高山駅の一つの特徴ができるのではないかなと思います。

だんだんと高層建築が増えてまいりまして、残念ながら昔のように姿は見ることができなくなりましたが、つくる過程において伝統的なものを造ると共に、もし眺望の聞くものができたとしたらありがたいかなと。

事務局：今、イメージ的にはここ(イメージ図の屋上を指して)が展望できるようなスペースにとこのようなことを思っておるんですが、ただ、この高さでは見えないかと。

ちょっと要望にはこたえられないかもしれませんが、外観的にはどのようなイメージがよろしいか。

委員：外観的にはやはり歴史的なものがイメージできるようなものがよろしいかと。近代的なものはいくらでもある。

委員：こういうような橋上駅ですと長野駅がありますね。昔は善光寺をイメージしたような建物でした。それが今は近代的なものになっている。これに対する皆さんの評価がどうなのかはポイントになると思います。

また、金沢駅が今高架になっており、下が自由通路になっておりまして、昔の駅舎は今の高山駅のようなものでしたが、今のものは非常に近代的なものになっており、何のオブジェかなと思うようなものでして。

事務局：鼓のイメージですかね。

委員：あれも土地の方、観光客がどのように思ってみえるのか。もしそんな調査結果がありましたらそのようなものを参考にするといいのではないかと。

事務局：夏場に、金沢の駅が高山の駅に似ているといわれて見に行ったんですが、最初に感じたのは、駅前の広場の構成が非常に複雑で入りづらい。人口が違うので仕方がないかもしれないが、初めて行った者には信号が多過ぎてプレッシャーになる。

部会長：東側のほうですね。

事務局：ああいうことは高山駅ではないようにしていきたい。十六銀行の前の交差点に信号機をつけるとい話がありますがこのような事は避けたいと思う。

先ほど、駅前広場の構成についてお話をいただきましたが、路線バスと今まで通りタクシー・普通車を分けます。そして真ん中に歩行空間を、自由通路を降りたら広くとる。今は道路を渡るにも横断歩道が一ヶ所ありますので、ああいう感じは一切なくして、濃飛の方にダイレクトに行けるような構成をとるようにしたい。その中で、植栽、ベンチ等の配置をします。

基本的にはまず路線バスと普通車を分ける。

そして、停留所の部分で濃飛バスに迷惑をかけている旅館・ホテル組合の送迎バス、最高で12台くらいが現状来ていると思います。基本的に送迎バスの旅館・ホテルの6割から7割が駅西側にある。グリーンホテル等西側に多くある。東西の駅前広場を作ったときには、送迎バスの7割位は駅西側に行くことになる。ですから、8台の構成の中にタッチアンドゴーの濃飛バスの停留所の中に3台ほど止まっていますが、あそこで乗ったらすぐに出る、回転半径も大きいので駅前広場には入らないように公安委員会に話しております。ですから、駅西のほうへ送迎バスも行っていいただければ、今みたいな列車が到着する短時間の混雑による危険性はなくなると思います。

先ほど、私が自由通路や橋上駅についてお話をいただきましたが、市民の利便性が高くなるが、今まで通り観光地の多くは東側にあるということで、駅西には駐車場が300台を計画しておりますけど、自由通路、JRアンダーを作ることによって北側に3.5mの歩道ができる予定です。その部分で、観光客は東に流れていくのではないかと考えています。

ですから、自由通路については機能的にはこれから高齢化社会ですのでエレベーター、エスカレーターの整備は十分に行って行かなければならないと思っております。

そういうわけで、橋上化のほうでやるのがベストだと思っております。

その関係でもご意見をいただければと思います。

委員：以前、聞いた時には観光バスは駅西にというような話を聞いたんですが。

高山駅へ列車でみえたときに、そこから観光バスで行かれると。

事務局：観光バスという想定はない。

路線バスについては濃飛バス1社ですので、濃飛バスの系統だけなので、分けてもあその停留所に入ってきたものがJRの高速バスがありますが、これも濃飛の関係ですので、それ以外に何かあるんですか。

委員：たまにJRでみえて、送迎にくるといのが。

事務局：そういうのは滞留場所で待っていただくとか、駅西の方へ行っていただくとか

ただ、今、駅西の道路状況が悪いので、いろいろとご協力してもらわなければならないですが、年間に何十回もあるものではないので。

委員：高山には今はありませんが、松本でも金沢でもいわゆる「ツアーバス」というのが無茶苦茶な料金でぼんぼん運んでくるのがえらく増えていて、困っているのを聞いているものですから、そういうのが来て、どこかに駐車された時のことを心配するんですけど

も。

そういうのは一切認めないよという方が、バス事業者としてはありがたいですけども。ただ、現実に来た時にどうするか。

事務局：認めないわけにはいけないと思いますので。そういう時は、待避スペースや駅西の方には入ることを認めないといけない。

委員：ゴールデンウィークあけたへんに数台来ていて、ワシントンホテルの前に止まっていたんですけども。

事務局：そういえばこの前見ていたときに、関西系のバスがとまっていたようですけども。

今の旅館・ホテル組合のバスについては駅前を利用していただくように考えておりますけれども、短時間しか認めるつもりありません。

今後、濃飛バスを含めて、駅前広場の利用団体の協議会を立ち上げて、ある程度利用者どうして整備するような方向で行かなければ、今後の利用は進まないだろうと。

そして、ボランティア的に、四季を感じられる木を植えますと落ち葉がでるので、その辺を皆さんのご協力をいただきたいと思います。

委員：いちいの大木は結局失敗だったんですか。根がつかなかったんですか。

事務局：いちいの大木については、もともと食と緑の博覧会のものを持ってきたんですね。

委員：大きく育つにはある程度の根が必要。

委員：このあたりの象徴としてはいいと思うんですが、無理なんですね。

事務局：そうですね。いちいと言う木は特に難しいんですよ。市の木ですが。

ただ、あれだけ枝の落とされた木を持てきますと・・・

山の中に生えたいちいは壮大ですけども。

死んだようなモニュメントも、駅前にすずらんのこんなようなものもありますけれど、なんとか整理して。地下水も豊富ですし、そういうようなものを使って、噴水のようなモニュメントもいいかと。昭和児童公園の水辺で2、30人の子供がパンツで遊んでいるのを見ていると、ああいうのもいいかと。駅前広場で子供が遊んでいるのはどうかっていう意見もあるかと思いますが、ああいうのもいいかと。

融雪とかも地下水を使ってやって欲しいという意見もありますので、そういうのも力をいれていきたいと思います。

委員：40年前は真ん中に噴水がありました。円形の。

事務局：地下水が豊富ですから。昭和児童公園の地下に防火水槽が入っているんですが、工事の際に水を汲んでも汲んでも枯れなかった。季節はいつごろだったか。

委員：夏から秋にかけて。

事務局：市長がそれを見ていて、これを上水道に売れと言われた。それぐらい豊富だった。

部会長：変なことを聞きますが、この駅前広場の土地の所有というのは複雑になっておるのですか。どういう構成になっているのか。

事務局：現在はJ Rと一部岐阜県の所有で、高山市が管理している状況です。

部会長：濃飛バスの部分については。

事務局：公共用地で、色が塗ってあるところは濃飛バスの換地ありません。

濃飛バスの固有名詞を出して申し訳ないんですが、運行している路線バスは濃飛バスしかありませんので。

部会長：なんでこういうことを申すかと言いますと、先ほど話にも出しましたが、公園的なものを駅前に作るといいかと。公園の中に駅があるような雰囲気だと相当いいイメージかなと。用地収用等問題はいっぱいあるかと思いますが。

ロータリーは手狭な風ではなく、J Rの方まで目いっぱい広げて、最大限有効に使って公園のようにすればいいかと思ったり。

自由通路は高いところを通る訳ですので、それを東側の道路まで伸ばすのもいいかと。発想の転換と言う意味で。外観的にはいいとは言えないかもしれないが。

事務局：その発想は前にも出たことがある。道路の取り付けの問題や角地の問題がある。

部会長：バリアフリーの問題で、市長から駄目だと言われそうなのは分かる。ただ、狭い空間を広く使うことを考えれば、それだけのものをカバーすれば駐車場の下もクリアできるし、お客さんはどちらにしろ、上がらなければならないから、エスカレーター等使うことを考えれば方向としては悪くないなど。上全面を公園のようにしてしまっただけで、下はタクシーなどがいるとすれば、道路の方に出るのにも直接階段を下りてもらえれば、道路へストンと下りれば、スペースとしてはいいんでないかと。外観上は僕がイメージした感じは良くない気がするが、外から見たら。ただ、広いスペースと言うことを考えればいいんでないかと。ちょうど去年の博覧会のイメージで。あれのきちんとしたのであればいいんじゃないかと。下が6 mあればバスも通れますよね。

委員：列車が通ればバスも通れます。

部会長：そうですね。だからそういうふうになんてちょっと考えてみたんですけど。

委員：J R岐阜駅の北口の一部がそんな感じですよ。

部会長：下の空間も相当広く使えますし。ただ、植栽ということになりますと、上に植栽した時にイメージ的にはあまりよくないかなと。

事務局：橋上駅ということですが、J Rの換地がありますので、J Rの機能は今まで通り東口にありまして、改札は上にありまして利用はそちらの方になりますけれども、機能自身は東側に残りますので、地平・橋上併用型のようになります。どこの橋上駅でもそういうふうになっておるんですが。

部会長：ものすごい市の負担になるんじゃないですか、全部持っていったら。

事務局：J Rに出させる方法はないんですか。

委員：J Rは出さないのが主義ですから。鉄道事業者はお金がないから出ないと思います。

事務局：質問内容は何でもよろしいので。

委員：自由通路はどのくらいの幅を予定していますか。

事務局：当初の計画は8 mです。他市の例を見ても、松本、長野、上越が寒冷地の方、磐田、藤枝、その他橋上駅にする県内の駅を調べたんですが、他市ではほとんどが8 m、十何万都市ですと10 m、松本ですと10 mでした。最低でも8 mはいるのかなと思います。

今後の予定を説明

事務局：これまでの皆さんの意見を聞きますと、近代的なものより、歴史的伝統的なものの方がいいよという意見であったと思いますがそれでよろしかったでしょうか。

委員：だけど、機能は確保しながらということでないといけない。

事務局：機能はもちろん確保します。外観のデザインということで。

委員：それにこだわる余り、機能が阻害されるということはないように。

事務局：先日の公共空間検討部会でもこういうような意見がございました。駅舎に関しては一つの観光地なんだと。駅舎が高山を表す観光地だというイメージの駅舎を作りなさいとか。また、機能的には近代的な駅舎がいいよという人がある。なぜかといいますと高山のイメージがどうしても暗い。ですから、中の雰囲気まで暗くしてもらっては困る。先ほど、委員が言われましたように機能と外見のつくりは別として考えていきたいと思っています。

できれば、私が行って来た中では、藤枝駅が藤の花のイメージで作ったらしいんですが、夜は緑色と言うか黄緑色のライトで、カクテルライトが当たってるような感じでとてもすばらしい駅舎だったと思うんですが、昼間は見てないんですが。できれば、明るさということに関してはそういうような光を使って、学校の方からも死角のない、警察の方からは

防犯的な指摘も受けておりますので、そういうような努力をしっかりとやらせていただきたいと思います。

あくまでも外観がどのようなものかということですので、これをＪＲに伝えていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

委 員：こういうような意見をＪＲにぶつけて、ＪＲの中で設計委託とかをコンペとかを開かれた上でってということか。

事務局：ＪＲは多分コンペとか言うことは考えないと思うんです。あそこ設計のコンサルタントを持っているので、そちらの方で設計委託すると。

委 員：ここで出た意見を盛り込んでもらうことは期待するんですが、あまりそれで縛られてしまうとトータルの感じがつかめなくなるような、これは出来ないというようなこともあると思うんですが。そこはどういう風に進めていくのかイメージが湧かない。

事務局：今回も市の建築グループのリーダーが来ていますし、今後はそちらの方とも協議しながら。当然建物のことですので。

あそこは防火地域ですし、く体は鉄骨・鉄筋ですので、あとは上に化粧をするかということですので。

基本的には機能はユニバーサルで、地区の指定は当然防火地域ですのでそれを守りながらも外見を整えていくと形になっていきますので、木造で柱までということにはなりませんので、そのへんのことだけは、おねがいたします。

委 員：外観とは関係ないんですが。あまり通学の時間に駅には行ったことがないんですが、自転車を利用する高校生は多いんですか。

事務局：多いですね。２４０名です。

委 員：東側のあれは仮だと思うんですけど、駅前に駐輪場を作りますと、人と自転車が入り混じる形になるので設計の方を考えていただかないと危ないような気がします。

事務局：ここから出てこういうふうに。

委 員：そこも考慮していただければと思います。

事務局：東側が特にそうですね。

委 員：西側はうまいことなっていますが。人が歩くところに自転車が乗り込むのは（良くない）。

事務局：ただ、他市の例をみますと駅の近く、藤枝は６００台でしたか、あそこは静岡の住宅地域なんです、それでシルバー人材の方が２４時間ついているような、２階３階建てだったかな、６００台の駐輪場があります。

近くに整備し、有料である、それが不法駐輪を避ける基本だということでした。やっぱり、人をつけて最初は誘導しなければならいし、回りの（民間の）駐輪場のこともある程度考えて安くも出来ませんが、並にして維持管理ができる施設にしたいということです。なおかつ、支障にならないところで近くにと言うことがポイントだと思うんです。どうしても、あまり遠くては違法駐輪が。今も月一回は土木の方がいろいろと整理しているんですが、２０台３０台はありますね。

委 員：常にあります。

事務局：ここにおられる委員にもご迷惑をおかけしておるんですが、結構ありますね。

委 員：盗難車も含んでますし。自分が盗まれると人の自転車を盗んでもいいだろうということではんとすごいですよ。自由に人のやつを乗っていきます。

事務局：他市ではリサイクルのものを利用して、無料で貸し出しをしているみたいですのでそういうのも検討していかなければならないかもしれない。

部会長：他に何かありましたら。言うのはただですから。

委 員：今有料駐輪場と言うのはありますか。前あったところは半分無くなってきているんですが。

事務局：私どもの公社も有料でございますのでよろしくお願いいたします。一応、一年間で１万円

くらいだったと思います。

事務局：月1, 050円くらいだったと思います。

場所はそこですね。

委員：そのお金を払うのはもったいないからということで、濃飛さんの隣にずらっと並ぶんですね。

事務局：維持管理的な費用も要りますので、（お金を）とってきちっとそれなりの指導ができる体制をとらなければならないと思います。

委員：ちょっと安めにしてもらえればと。

事務局：ただ、安めにすれば、今現在営業して見える方もいますので、そちらの方に影響があるかと。

高山市の駐輪場が安いと、そちらの方にやめろと言うことになりますから。

無料にしたらずい。

部長：他にこんなことが、ということがありましたら。

委員：濃飛バスのところは高山駅と同時進行ということで改築等進んでいくんですか。

事務局：JRとの協議でどうなるか分からないんですが。ただ、駅西のモリーの方が移転したことにより、今後日通が移転すれば駅前広場のほとんど確保できるんです。ですから駐車場のところが広場として工事用のスペースとして通れますし、駅西側から新しくあちらから先に作っていただいて、自由通路を作って、橋上駅を作って、仮設程度で東と結んでいただいて、その間に今の駅舎を取り壊してということであれば駅舎の仮設費用が簡単に済むのかと思っておるんですけれども。広場の構成等はそれにあわせてやっていかなければならないと思っております。

ただ、今言えるのは、21年から23年ころにということだけで、今後はJRさんとの協議によって違ってくるのかなと思います。ただ、経済的な方法をとらせてもらえればと思っております。

委員：濃飛の周辺に民間の人がいるんですが、そういう所は、計画がすごく伸びてきているので、大変迷惑しているんですよ。代が変わっていくとかいろいろなことで、かまいたいがかまえない状況になっている。非常に迷惑している。何とか早くやってほしい。

事務局：今、区画整理事業は25年度までということで資料にもありますけれども、皆さんに迷惑をおかけしていることも承知していますので、これ以上伸ばすことのないようにできるだけ早くできるように。

委員：どっちみちやらなければならないことなら前倒しにでもやっていただいて、やらないならやらなくてもいいんですが、そういうわけにもいかないと思いますので。

事務局：この事業が始まった以上、中止というわけにはいきませんので。

委員：それなら、できるだけ早く前倒しにでもやるように。

事務局：わかりました。できるだけ早くやるようにします。

部長：今の駅前広場と、新しい駅前広場のもの（図面）をみせてもらえますか。

一番右側（東口南側）のところ、今の日通の所は駅前広場になるということですが。

事務局：広場になりますね。

部長：大分広くなると言うことですね。

事務局：今の日通のところは、公社の換地です。その隣が日通の換地ですので、今後市長にお願いしていこうとしているのは、市長はこの土地（後者の土地）を駐車場としたいということですが、機能的には、自由通路の前に広い動線空間を取るには、どうしても車の入るスペースをどれだけいじめるかという事になるんですけれども、こういう観光地ですとどうしてもタクシー、路線バスの機能はつき物です。いじめることが出来ませんので、どうしても内部で計画しておいた駐車場の台数を減らして、短時間の駐車場20台と

言うことで一部計画しておりますけれども、短時間、30分ぐらいを無料にして、あとを高くする。これは他市でもやっているんですが、それによって、違法駐車を避けられるというようなそういう方向付けをやっていこうと思います。

部会長：気が付かなかったもので、今見て思ったもので。

事務局：白い部分が既存のラインですので。濃飛バスの部分が既存の部分とは違っておりますけれども、後は全部道路センター等いっしょですので。

今後は進入路は広小路からという形態になります。

部会長：後はどうですか。

(意見等なし)

《閉会》